

平成26年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

平成25年度中間決算の特徴	1
I 平成25年度中間決算の概要	
1. 預金、貸出金の残高【単体】	2
2. 利鞘【単体】	3
3. 預り資産残高・保険販売実績【単体】	3
4. 損益状況【単体】	4
5. 損益状況【連結】	6
6. 業務純益【単体】	7
7. 国債等債券関係損益【単体】	7
8. 株式関係損益【単体】	7
9. 有価証券・金銭の信託の評価損益【単体】・【連結】	8
10. ROE【単体】	8
11. 自己資本比率（国際統一基準）【単体】・【連結】	9
II 貸出金等の状況	
1. 貸倒引当金とリスク管理債権の状況【単体】・【連結】	11
2. 金融再生法開示債権の状況【単体】	12
3. 業種別貸出状況等	13
(1) 消費者ローン残高【単体】	13
(2) 中小企業等貸出比率【単体】	13
(3) 業種別貸出金残高【単体】	13
(4) 業種別リスク管理債権残高【単体】	14
4. 国別貸出状況等	14
(1) 特定海外債権残高【単体】	14
(2) アジア向け貸出金【単体】	14
(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】	14
(4) ロシア向け貸出金【単体】	14
III 自己査定結果と開示基準別の分類・保全状況【単体】	15
IV 平成26年3月期(通期)の業績予想	16

平成25年度中間決算の特徴(単体)

◆資金利益は減少するも債券関係損益の増加・株式関係損益の改善を主因に増益

(詳細は、4～5頁をご覧ください。)

- ◇ 貸出金や有価証券の運用利回りの低下により資金利益は13億円減少するも、債券関係損益や金融派生商品関係損益の増加により、その他業務利益が22億円増加したこと、更に経費も2億円減少したことから、実質業務純益は11億円の増益となりました。
- ◇ 与信コストは4億円の増加となったものの、株式関係損益が21億円改善したことから、経常利益は33億円の増益、中間純利益も27億円の増益となりました。

(単位:億円)

	25年度中間期	24年度中間期	前年同期比較
業務粗利益	334	324	9
[コア業務粗利益(債券関係損益を除く)]	[296]	[298]	[△1]
資金利益	257	270	△13
うち貸出金利息	210	220	△10
うち有価証券利息配当金	65	69	△4
うち預金等利息 (△)	13	16	△3
役務取引等利益	30	30	0
その他業務利益	46	23	22
[うち債券関係損益]	[37]	[25]	[11]
[うち金融派生商品関係損益]	[5]	[△4]	[10]
経費 (△)	222	224	△2
実質業務純益	112	100	11
一般貸倒引当金繰入額 [①] (△)	3	△4	7
業務純益	108	104	4
[コア業務純益(債券関係損益を除く)]	[71]	[78]	[△6]
臨時損益	0	△29	29
うち株式関係損益	0	△20	21
うち不良債権処理額 [②] (△)	8	11	△2
うち償却債権取立益	3	5	△2
うち投資損失引当金戻入益 [③]	—	0	△0
うち偶発損失引当金戻入益 [④]	—	0	△0
経常利益	108	75	33
特別損益	△0	△3	2
うち減損損失 (△)	0	1	△1
税引前中間純利益	108	72	36
法人税等合計 (△)	45	36	8
中間純利益	63	35	27
与信コスト(①+②-③-④)	12	7	4

I 平成25年度中間決算の概要

1. 預金、貸出金の残高【単体】

当中間期の預金等（譲渡性預金を含む）の期中平均残高は、前年同期比1,070億円増加（増加率2.61%）し4兆2,098億円となりました。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆1,673億円で同619億円の増加となりました。

一方、貸出金については、事業性貸出・消費者向け貸出・地公体向け貸出ともに増加し、期中平均残高は2兆8,216億円となり、前年同期比855億円の増加（増加率3.12%）となりました。

この結果、預貸率は67.02%となり、前年同期比0.34%上昇いたしました。

今後も引き続き、運用力の一層の強化に努め、良質な貸出金の増強に努力してまいります。

（金額単位：百万円）

〔期中平均残高〕	25年度中間期		24年度中間期	25年3月期	24年度中間期
	25年3月期比較	24年度中間期比較			
預金等 （預金＋譲渡性預金）	4,209,862	(2.31%) 95,349	(2.61%) 107,089	4,114,513	4,102,773
うち滋賀県内	3,663,371	74,974	79,892	3,588,396	3,583,478
預金	4,103,803	94,551	105,741	4,009,251	3,998,061
うち個人預金	3,167,388	48,764	61,956	3,118,624	3,105,432
うち法人預金	799,902	33,348	41,882	766,553	758,019
譲渡性預金	106,059	797	1,347	105,262	104,712
貸出金	2,821,608	(2.51%) 69,094	(3.12%) 85,579	2,752,514	2,736,028
うち滋賀県内	1,763,625	49,785	63,737	1,713,840	1,699,888
うち消費者向け貸出	883,362	11,893	15,035	871,469	868,326
うち事業性貸出	1,704,763	22,523	27,975	1,682,239	1,676,787
預貸率	67.02%	0.13%	0.34%	66.89%	66.68%

（金額単位：百万円）

〔期末残高〕	25年9月末		24年9月末	25年3月末	24年9月末
	25年3月末比較	24年9月末比較			
預金等 （預金＋譲渡性預金）	4,207,430	(0.30%) 12,844	(2.25%) 92,584	4,194,585	4,114,845
うち滋賀県内	3,639,592	△1,190	59,548	3,640,782	3,580,043
預金	4,101,890	6,928	88,554	4,094,961	4,013,335
うち個人預金	3,164,858	18,768	65,801	3,146,090	3,099,057
うち法人預金	814,893	2,343	25,397	812,549	789,495
譲渡性預金	105,540	5,916	4,030	99,624	101,509
貸出金	2,875,016	(1.60%) 45,523	(3.79%) 105,143	2,829,492	2,769,872
うち滋賀県内	1,787,316	28,016	60,734	1,759,300	1,726,582
うち消費者向け貸出	889,097	9,640	18,310	879,457	870,786
消費者ローン	820,403	14,027	27,069	806,376	793,334
その他の 消費者向け貸出	68,694	△4,387	△8,758	73,081	77,452
うち事業性貸出	1,748,489	11,893	50,998	1,736,596	1,697,490
預貸率	68.33%	0.88%	1.02%	67.45%	67.31%

- (注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 貸出金のうち滋賀県内の残高は、本部勘定に計上しているローンパーティシペーション等の余資運用の一環として行っている貸出金を除いて記載しております。
3. 消費者向け貸出のうち、消費者ローンとは、借入の利便性向上のため予め貸出条件等を定めてパッケージ化した商品であり、その他の消費者向け貸出とは、消費者ローン以外の個人向け一般融資（事業性の貸出を除く）であります。

2. 利鞘【単体】

当中間期の資金運用利回りは前年同期比0.11%低下して1.24%となりました。これは、低金利の長期化による貸出金利回りの低下（前年同期比0.13%低下）及び有価証券利回りの低下（同0.04%低下）が主因であります。

一方、資金調達原価は預金等利回りの低下（前年同期比0.02%低下）及び経費率の低下（同0.04%低下）から1.12%（同0.06%低下）となり、その結果、総資金利鞘は同0.05%低下して0.12%となりました。

(単位：%)

〔全店ベース〕	25年度中間期	25年度中間期		25年3月期	24年度中間期
		25年3月期比較	24年度中間期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	1.24	△0.08	△0.11	1.32	1.35
(イ) 貸出金利回り (B)	1.48	△0.10	△0.13	1.58	1.61
(ロ) 有価証券利回り	0.94	0.01	△0.04	0.93	0.98
(2) 資金調達原価 (C)	1.12	△0.01	△0.06	1.13	1.18
(イ) 預金等原価 (D)	1.11	△0.01	△0.06	1.12	1.17
(ロ) 預金等利回り	0.06	△0.01	△0.02	0.07	0.08
(ハ) 経費率	1.05	—	△0.04	1.05	1.09
(3) 預貸金利鞘 (B)－(D)	0.37	△0.09	△0.07	0.46	0.44
(4) 総資金利鞘 (A)－(C)	0.12	△0.07	△0.05	0.19	0.17

(単位：%)

〔国内店ベース〕	25年度中間期	25年度中間期		25年3月期	24年度中間期
		25年3月期比較	24年度中間期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	1.24	△0.07	△0.10	1.31	1.34
(イ) 貸出金利回り (B)	1.49	△0.09	△0.12	1.58	1.61
(ロ) 有価証券利回り	0.93	0.01	△0.04	0.92	0.97
(2) 資金調達原価 (C)	1.10	△0.01	△0.05	1.11	1.15
(イ) 預金等原価 (D)	1.09	△0.01	△0.06	1.10	1.15
(ロ) 預金等利回り	0.05	△0.01	△0.02	0.06	0.07
(ハ) 経費率	1.03	—	△0.04	1.03	1.07
(3) 預貸金利鞘 (B)－(D)	0.40	△0.08	△0.06	0.48	0.46
(4) 総資金利鞘 (A)－(C)	0.14	△0.06	△0.05	0.20	0.19

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 預り資産残高・保険販売実績【単体】

(単位：件、百万円)

	25年9月末	25年9月末		25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
投資信託期末残高 (A)	119,249	△2,858	10,648	122,108	108,600
公共債期末残高 (B)	98,859	△645	△251	99,504	99,110
金融商品仲介期末残高 (C)	22,245	△6,027	△10,991	28,273	33,236
個人年金 保険	販売件数	84,028	1,654	2,674	81,354
	取扱保険料 (D)	250,879	4,951	7,096	245,928
その他の生命保険 取扱保険料 (E)	95,696	11,964	25,336	83,732	70,360
預り資産残高合計 (A+B+C +D+E)	586,930	7,383	31,840	579,547	555,090
うち個人預り資産残高	571,583	8,478	33,739	563,104	537,843

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 個人年金保険の販売件数・取扱保険料は、取扱開始（平成14年10月）以降の累計であります。

4. 損益状況【単体】

当行単体の当中間期の損益状況は次のとおりであります。

■低金利の長期化により資金運用収益が減少、資金利益は減益

金融緩和による低金利が続いており、資金運用の要となる貸出金の残高は増加したものの、貸出金利息は前年同期比1,009百万円減少の21,076百万円となりました。また、有価証券利息配当金も同443百万円減少の6,553百万円となりました。

資金調達のとおりである預金等利息も同339百万円減少の1,351百万円となりましたが、資金運用収益の減少を埋めるには至らず、資金利益全体では前年同期比1,304百万円減益の25,702百万円となりました。

■役務取引等利益は微増

預かり資産関係の手数料等が伸び、役務取引等利益は前年同期比21百万円増加して3,084百万円となりました。

■債券関係損益の増加によりその他業務利益は増益

保有債券のデュレーション調整の過程で国債等債券売却益が増加し、債券関係損益が前年同期比1,143百万円増加、また、金融派生商品関係損益も同1,014百万円改善したことなどから、その他業務利益は同2,257百万円増加の4,622百万円となりました。

以上の結果、業務粗利益は33,409百万円で前年同期比973百万円の増益、債券関係損益を除くコア業務粗利益では169百万円の減益となりました。

■経費は人件費、物件費ともに減少

一方、経費は人件費が前年同期比170百万円、物件費が同85百万円減少し、全体で前年同期比221百万円減少して22,209百万円となりました。

この結果、一般貸倒引当金繰入前の実質業務純益は、前年同期比1,194百万円増益の11,200百万円となりました。

■与信コストは434百万円増加、株式関係損益は改善

当中間期の与信コスト（一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－投資損失引当金戻入益－偶発損失引当金戻入益）は1,200百万円となり一般貸倒引当金の戻入があった前年同期に比べて434百万円の増加となりました。

一方、株式関係損益は39百万円の利益となり、前年同期比＋2,103百万円と大きく改善しました。

■経常利益、税引前中間純利益、中間純利益とも増益

これらの結果、当中間期の経常利益は10,899百万円と前年同期比3,385百万円の増益、税引前中間純利益は10,835百万円と同3,629百万円の増益、中間純利益は同2,762百万円増益の6,306百万円となりました。

【 単 体 】

(単位：百万円)

項 番		25年度中間期	24年度中間期比較	24年度中間期
1	業 務 粗 利 益	33,409	973	32,436
2	コア業務粗利益 (除く債券関係損益)	29,677	△169	29,846
3	資 金 利 益	25,702	△1,304	27,007
4	資 金 運 用 収 益	27,846	△1,487	29,333
5	うち貸出金利息	21,076	△1,009	22,085
6	うち有価証券利息配当金	6,553	△443	6,997
7	うちコールローン利息	104	△76	181
8	資 金 調 達 費 用	2,147	△182	2,330
9	うち預金等利息	1,351	△339	1,690
10	役 務 取 引 等 利 益	3,084	21	3,062
11	そ の 他 業 務 利 益	4,622	2,257	2,365
12	(うち債券関係損益)	3,732	1,143	2,589
13	(うち金融派生商品関係損益)	534	1,014	△480
14	うち国内業務粗利益	32,454	704	31,750
15	コア業務粗利益 (除く債券関係損益)	28,832	△247	29,079
16	資 金 利 益	25,299	△1,284	26,583
17	役 務 取 引 等 利 益	2,992	26	2,966
18	そ の 他 業 務 利 益	4,162	1,962	2,200
19	(うち債券関係損益)	3,622	952	2,670
20	経 費 (除 く 臨 時 費 用 分)	22,209	△221	22,430
21	人 件 費	11,821	△170	11,992
22	物 件 費	8,908	△85	8,993
23	税 金	1,479	35	1,444
24	実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	11,200	1,194	10,005
25	実質コア業務純益 (除く債券関係損益)	7,467	51	7,416
26	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	302	712	△410
27	業 務 純 益	10,898	482	10,416
28	臨 時 損 益	0	2,903	△2,902
29	不 良 債 権 処 理 額	898	△288	1,187
30	うち貸出金償却	276	△478	755
31	うち個別貸倒引当金繰入額	603	171	431
32	償 却 債 権 取 立 益	349	△215	564
33	投 資 損 失 引 当 金 戻 入 益	—	△0	0
34	偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益	—	△10	10
35	株 式 等 関 係 損 益	39	2,103	△2,064
36	そ の 他 臨 時 損 益	510	737	△226
37	経 常 利 益	10,899	3,385	7,513
38	特 別 損 益	△63	243	△307
39	うち固定資産処分損益	△57	96	△153
40	固定資産処分益	12	8	3
41	固定資産処分損	69	△87	157
42	うち減損損失	5	△147	153
43	税 引 前 中 間 純 利 益	10,835	3,629	7,206
44	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	4,296	2,048	2,248
45	法 人 税 等 調 整 額	232	△1,181	1,413
46	法 人 税 等 合 計	4,529	867	3,661
47	中 間 純 利 益	6,306	2,762	3,544
48	与信コスト (貸倒償却引当費用) [26+29-33-34]	1,200	434	765

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 債券関係損益＝国債等債券売却益－同売却損＋同償還益－同償還損－同償却

5. 損益状況【連結】

当行は連結子会社が9社あり、連結決算を実施しております。

当中間期の連結経常利益は単体比975百万円増の11,874百万円（前年同期比3,593百万円増益）、連結中間純利益は単体比412百万円増の6,719百万円（前年同期比2,840百万円増益）となりました。

【連結】

(単位：百万円)

項番		25年度中間期	24年度中間期比較	24年度中間期
1	連 結 粗 利 益	35,367	922	34,445
2	資 金 利 益	25,683	△1,306	26,990
3	役 務 取 引 等 利 益	4,375	83	4,291
4	そ の 他 業 務 利 益	5,307	2,145	3,162
5	営業経費（臨時費用処理分を除く）	23,097	△274	23,371
6	連結実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12,270	1,196	11,073
7	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	244	662	△418
8	連 結 業 務 純 益	12,025	534	11,491
9	そ の 他 経 常 損 益 （ 臨 時 損 益 ）	△151	3,059	△3,210
10	不 良 債 権 処 理 額	1,031	△397	1,429
11	貸 出 金 償 却	277	△499	777
12	そ の 他 の 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 （一般貸倒引当金繰入額を除く）	731	105	626
13	そ の 他 債 権 売 却 損 等	22	△3	26
14	償 却 債 権 取 立 益	349	△214	564
15	投 資 損 失 引 当 金 戻 入 益	—	△0	0
16	偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益	—	△10	10
17	株 式 等 関 係 損 益	39	2,104	△2,064
18	売 却 益	154	93	61
19	売 却 損	99	98	0
20	償 却	14	△2,110	2,125
21	その他経常損益（営業経費中臨時処理分を含む）	494	782	△287
22	金 銭 の 信 託 運 用 見 合 費 用	3	△0	4
23	経 常 利 益	11,874	3,593	8,281
24	特 別 損 益	△63	246	△310
25	税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	11,810	3,839	7,970
26	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	4,624	2,063	2,561
27	法 人 税 等 調 整 額	295	△1,088	1,384
28	法 人 税 等 合 計	4,920	974	3,945
29	少 数 株 主 損 益 調 整 前 中 間 純 利 益	6,890	2,864	4,025
30	少 数 株 主 利 益	170	24	146
31	中 間 純 利 益	6,719	2,840	3,878
	(参考)			
	与 信 コ ス ト （ 7+10-15-16 ）	1,276	275	1,000

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益＝資金利益(資金運用収益－(資金調達費用－金銭の信託運用見合費用))＋役務取引等利益(役務取引等収益－役務取引等費用)＋その他業務利益(その他業務収益－その他業務費用)
3. 連結業務純益＝連結粗利益－営業経費(臨時費用処理分を除く)－貸倒引当金繰入額(その他経常費用)中の一般貸倒引当金繰入額

6. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	25年度中間期		24年度中間期
		24年度中間期比較	
(1) 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	11,200	1,194	10,005
職員一人当たり(千円)	4,692	493	4,198
(2) 実質コア業務純益 (一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益除く)	7,467	51	7,416
職員一人当たり(千円)	3,128	16	3,112
(3) 業務純益	10,898	482	10,416
職員一人当たり(千円)	4,565	194	4,370

- (注) 1. 金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 職員数は、期中平均人員を使用しております。

7. 国債等債券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	25年度中間期		24年度中間期
		24年度中間期比較	
国債等債券関係損益(5勘定戻)	3,732	1,143	2,589
売却益	4,497	1,573	2,924
償還益	—	—	—
売却損	764	430	334
償還損	—	—	—
償却	—	—	—

- (注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

8. 株式関係損益【単体】

(単位：百万円)

	25年度中間期		24年度中間期
		24年度中間期比較	
株式関係損益(3勘定戻)	39	2,103	△2,064
売却益	154	93	61
売却損	99	99	—
償却	14	△2,110	2,125

- (注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

9. 有価証券・金銭の信託の評価損益

(単位：百万円)

【単体ベース】	25年9月末			25年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	83,907	85,992	2,085	82,536	83,604	1,068
有価証券	83,907	85,992	2,085	82,536	83,604	1,068
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	—	—	—	—	—	—
[その他有価証券評価差額金]	[59,644]			[58,442]		
合計	83,907	85,992	2,085	82,536	83,604	1,068
有価証券	83,907	85,992	2,085	82,536	83,604	1,068
株式	64,701	64,991	290	51,001	51,043	42
債券	20,230	20,640	409	31,749	32,033	284
その他	△1,024	360	1,385	△213	526	740
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	—	—	—	—	—	—

【連結ベース】	25年9月末			25年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	84,189	86,274	2,085	82,755	83,823	1,068
有価証券	84,189	86,274	2,085	82,755	83,823	1,068
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	—	—	—	—	—	—
[その他有価証券評価差額金]	[59,704]			[58,488]		
合計	84,189	86,274	2,085	82,755	83,823	1,068
有価証券	84,189	86,274	2,085	82,755	83,823	1,068
株式	64,983	65,273	290	51,220	51,263	42
債券	20,230	20,640	409	31,749	32,033	284
その他	△1,024	360	1,385	△213	526	740
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 「その他有価証券」並びに「金銭の信託(運用目的及び満期保有目的以外)」については第2四半期末日(期末日)の時価に基づいて評価しておりますので、上記の表は中間貸借対照表(貸借対照表)又は中間連結貸借対照表(連結貸借対照表)計上額と取得価額との差額を記載しております。
3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

10. ROE【単体】

(単位：%)

	25年度中間期	25年3月期 比較	24年度中間期 比較	25年3月期	24年度中間期
	業務純益ベース	8.27	0.69	△0.47	7.58
中間(当期)純利益ベース	4.79	2.86	1.82	1.93	2.97

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

11. 自己資本比率（国際統一基準）

25年3月末からバーゼルⅢが導入されたことにより、25年3月末より新基準で定められた算式に基づき算出しております。

また、当行は信用リスクの計測手法として『FIRB（基礎的内部格付手法）』を、オペレーショナルリスクの計測手法として『粗利益配分手法』を採用しております。

なお、当行単体の当中間期末の総自己資本比率は14.46%で前期末（平成25年3月末）比0.56%上昇、連結ベースの当中間期末の総自己資本比率は14.70%で前期末比0.56%上昇となりました。

【 単 体 】

（金額単位：億円）

	25年9月末	25年3月末比較	
		25年3月末	25年3月末
(1) 単体総自己資本比率(%)	14.46	0.56	13.90
(2) 単体Tier 1 比率(%)	9.59	0.41	9.18
(3) 単体普通株式等Tier 1 比率 (%)	9.59	0.41	9.18
(4) 単体における総自己資本の額	2,880	100	2,780
(5) 単体におけるTier1資本の額	1,911	75	1,836
(6) 単体における普通株式等Tier1資本の額	1,911	75	1,836
(7) リスク・アセットの額	19,914	△80	19,994
(8) 単体総所要自己資本額	1,593	△6	1,599

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【 連 結 】

（金額単位：億円）

	25年9月末	25年3月末比較	
		25年3月末	25年3月末
(1) 連結総自己資本比率(%)	14.70	0.56	14.14
(2) 連結Tier 1 比率(%)	9.87	0.43	9.44
(3) 連結普通株式等Tier 1 比率 (%)	9.87	0.43	9.44
(4) 連結における総自己資本の額	2,981	105	2,876
(5) 連結におけるTier1資本の額	2,001	80	1,920
(6) 連結における普通株式等Tier1資本の額	2,001	80	1,920
(7) リスク・アセットの額	20,271	△57	20,329
(8) 連結総所要自己資本額	1,621	△4	1,626

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

＜参考＞ パーゼルⅡ

参考情報として平成25年3月末までの旧基準（パーゼルⅡベース）による自己資本比率を記載しております。

【 単 体 】

(金額単位：億円)

	25年3月末	24年9月末	24年3月末
(1) 自己資本比率 (%)	14.47	14.09	13.83
うち Tier1 比率 (%)	9.39	9.59	9.16
(2) T i e r 1	1,836	1,846	1,826
(3) T i e r 2	1,058	915	968
(イ) 自己資本に計上された 有価証券含み益	370	226	277
(ロ) 自己資本に計上された 土地再評価差額金	88	89	90
(ハ) 劣後債務残高	600	600	600
(4) 控 除 項 目	64	49	39
(5) 自 己 資 本 (2)+(3)-(4)	2,831	2,713	2,756
(6) リ ス ク ・ ア セ ッ ト	19,557	19,248	19,924

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【 連 結 】

(金額単位：億円)

	25年3月末	24年9月末	24年3月末
(1) 自己資本比率 (%)	14.72	14.30	14.04
うち Tier1 比率 (%)	9.69	9.85	9.42
(2) T i e r 1	1,925	1,928	1,903
(3) T i e r 2	1,062	919	972
(イ) 自己資本に計上された 有価証券含み益	371	227	278
(ロ) 自己資本に計上された 土地再評価差額金	88	89	90
(ハ) 劣後債務残高	600	600	600
(ニ) 一般貸倒引当金	2	3	3
(4) 控 除 項 目	63	48	38
(5) 自 己 資 本 (2)+(3)-(4)	2,924	2,798	2,837
(6) リ ス ク ・ ア セ ッ ト	19,862	19,563	20,204

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

II 貸出金等の状況

1. 貸倒引当金とリスク管理債権の状況

当行単体のリスク管理債権の合計は833億円となり、前期末（25年3月末）比71億円の減少、総貸出金残高に占める比率は2.89%と同0.30%の低下となりました。

なお、当行の子会社では一般事業貸出を行っていないことから、連結ベースでのリスク管理債権残高は単体比134百万円の増加にとどまっております。

【 単 体 】

(単位：百万円)

	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
貸倒引当金	34,379	△1,662	3,265	36,042	31,114
一般貸倒引当金	16,469	302	1,317	16,167	15,152
個別貸倒引当金	17,910	△1,964	1,948	19,875	15,961
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

リスク管理債権	破綻先債権額	944	93	△199	850	1,143
	延滞債権額	56,399	△7,566	△2,077	63,966	58,476
	3カ月以上延滞債権額	282	△191	△152	473	435
	貸出条件緩和債権額	25,721	546	7,985	25,174	17,736
	合計	83,347	△7,117	5,556	90,465	77,791

(部分直接償却額) (25,653) (1,982) (△2,387) (23,671) (28,040)

貸出金残高(未残)	2,875,016	45,523	105,143	2,829,492	2,769,872
-----------	-----------	--------	---------	-----------	-----------

(単位：%)

対総貸出金残高比率	破綻先債権額	0.03	—	△0.01	0.03	0.04
	延滞債権額	1.96	△0.30	△0.15	2.26	2.11
	3カ月以上延滞債権額	0.00	△0.01	△0.01	0.01	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.89	0.01	0.25	0.88	0.64
	合計	2.89	△0.30	0.09	3.19	2.80

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【 連 結 】

(単位：百万円)

	25年9月末	25年3月末比較		25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
貸倒引当金	36,603	△1,727	3,263	38,331	33,340
一般貸倒引当金	17,110	244	1,167	16,865	15,942
個別貸倒引当金	19,493	△1,972	2,095	21,465	17,397
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

リスク管理債権	破綻先債権額	956	87	△202	868	1,158
	延滞債権額	56,447	△7,585	△2,097	64,033	58,544
	3カ月以上延滞債権額	285	△190	△154	475	439
	貸出条件緩和債権額	25,792	533	7,953	25,259	17,839
	合 計	83,482	△7,154	5,499	90,637	77,982

(部分直接償却額) (25,653) (1,982) (△2,387) (23,671) (28,040)

貸出金残高(末残)	2,867,833	45,271	104,335	2,822,561	2,763,498
-----------	-----------	--------	---------	-----------	-----------

(単位：%)

対総貸出金 残高比率	破綻先債権額	0.03	—	△0.01	0.03	0.04
	延滞債権額	1.96	△0.30	△0.15	2.26	2.11
	3カ月以上延滞債権額	0.00	△0.01	△0.01	0.01	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.89	—	0.25	0.89	0.64
	合 計	2.91	△0.30	0.09	3.21	2.82

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 金融再生法開示債権の状況【 単 体 】

当行単体の金融再生法に基づく開示債権の合計は834億円で前期末(25年3月末)比72億円の減少、総与信に占める比率は2.86%で同0.30%の低下、貸倒引当金や担保等による保全率は73.20%で同2.00%の低下となりました。

【 単 体 】

(金額単位：百万円)

	25年9月末	25年3月末比較		25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,478	△701	△1,783	5,179	6,262
危険債権	52,980	△6,905	△626	59,885	53,607
要管理債権	26,004	355	7,832	25,648	18,171
小 計 (A)	83,463	△7,251	5,422	90,714	78,040
総与信残高に占める比率 (%) (A) ÷ (B)	2.86	△0.30	0.08	3.16	2.78
正常債権	2,824,879	50,567	97,330	2,774,311	2,727,549
合 計 (B)	2,908,342	43,316	102,752	2,865,026	2,805,590

保 全 額 (C)	61,101	△7,117	846	68,218	60,254
貸倒引当金	23,651	△1,896	3,505	25,547	20,146
担保保証等	37,449	△5,220	△2,658	42,670	40,108

保 全 率 (%) (C) ÷ (A)	73.20	△2.00	△4.00	75.20	77.20
------------------------	-------	-------	-------	-------	-------

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 業種別貸出状況等

(1) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
消費者ローン	820,403	14,027	27,069	806,376	793,334
住宅ローン	790,638	12,893	25,562	777,745	765,076
その他ローン	29,765	1,134	1,506	28,631	28,258

(注) 1. 百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 住宅ローンには、地方公共団体制度融資(住宅資金)・協定住宅融資等の住宅関連融資を含めて記載しております。

(2) 中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
中小企業等貸出比率	68.33	△1.38	△1.71	69.71	70.04

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(3) 業種別貸出金残高【単体】

(単位：百万円)

	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	2,866,680	46,710	101,399	2,819,969	2,765,280
製造業	488,225	△5,796	5,114	494,021	483,111
農業・林業	3,038	1	18	3,037	3,019
漁業	538	△29	103	568	435
鉱業・採石業・砂利採取業	5,083	△696	△787	5,779	5,870
建設業	93,541	△3,935	△1,869	97,477	95,411
電気・ガス・熱供給・水道業	28,572	2,233	2,147	26,338	26,424
情報通信業	46,124	4,848	8,567	41,275	37,557
運輸業・郵便業	102,610	△3,764	△2,756	106,375	105,367
卸売業・小売業	361,104	△2,975	3,036	364,079	358,067
金融業・保険業	79,989	9,955	8,878	70,033	71,111
不動産業・物品賃貸業	406,532	256	15,143	406,276	391,389
その他のサービス業	234,053	△3,348	△13,116	237,401	247,169
地方公共団体	236,335	34,910	46,879	201,424	189,455
その他	780,928	15,049	30,038	765,878	750,889

(注) 百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) 業種別リスク管理債権残高【単体】

(単位：百万円)

	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	83,347	△7,117	5,563	90,465	77,784
製造業	30,090	△918	6,684	31,009	23,406
農業・林業	36	△14	△107	51	144
漁業	—	—	—	—	—
鉱業・採石業・砂利採取業	141	141	141	—	—
建設業	6,921	△1,447	△560	8,369	7,482
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	427	145	131	281	295
運輸業・郵便業	3,983	△140	811	4,123	3,171
卸売業・小売業	23,881	△1,226	4,124	25,107	19,757
金融業・保険業	18	△46	△42	65	61
不動産業・物品賃貸業	9,510	△3,664	△4,701	13,174	14,211
その他のサービス業	4,059	227	△822	3,832	4,882
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	4,275	△173	△95	4,449	4,371

(注) 百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 国別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

該当事項はありません。

(2) アジア向け貸出金【単体】

(単位：百万円)

	25年9月末			25年3月末	24年9月末
		25年3月末比較	24年9月末比較		
インドネシア	357	△88	3	446	354
(うちリスク管理債権)	—	—	△6	—	6
中国	1,312	△27	59	1,339	1,253
(うちリスク管理債権)	300	—	300	300	—
香港	3,317	△1,518	1,658	4,836	1,659
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
タイ	1,296	276	746	1,020	550
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
シンガポール	2,053	172	2,053	1,881	—
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
合計	8,336	△1,186	4,520	9,523	3,816
(うちリスク管理債権)	300	—	293	300	6

(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】

該当事項はありません。

(4) ロシア向け貸出金【単体】

該当事項はありません。

Ⅲ 自己査定結果と開示基準別の分類・保全状況【単体】

〔平成25年9月末現在〕

(金額単位：億円)

自己査定結果（債務者区分別） 対象：貸出金等与信関連債権					金融再生法の開示基準 対象：要管理債権は貸出金のみ その他は貸出金等与信関連債権				リスク管理債権 対象：貸出金	
区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保 保証 による 保全額	引 当 額	保 全 率	区 分	貸出金 残 高
	非 分類	Ⅱ 分類	Ⅲ 分類	Ⅳ 分類						
破綻先 9	2	7	— (2)	—	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 44	37	7	100.00%	破綻先債権	9
実質破綻先 35	9	25	— (4)	— (0)					危険債権 529	280
破綻懸念先 529	348	103	77 (171)		要管理債権 (貸出金のみ) 260	56	57	43.91%		
要 注 意 先 要管理先 365	55	310							小計 834	374
その他の 要注意先 3,206	652	2,554			正常債権 28,248	総与信に占める 金融再生法開示基準 による不良債権(小計) の割合 2.86%	総貸出金に占める リスク管理債権の 割合 2.89%	合 計		
正 常 先 24,936	24,936							合 計 29,083		
合 計 29,083	26,005	3,000	77 (178)	— (0)						

- (注) 1. 金額は単位未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 貸出金等与信関連債権：貸出金・支払承諾（銀行保証付私募債に係る支払承諾を除く）・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・未収利息
3. 自己査定結果におけるⅢ分類の()内は分類額に対する引当額であります。

IV 平成26年3月期(通期)の業績予想

〔主要勘定〕

(単位：億円、%)

	【 単 体 】	
	26年3月期予想	25年3月期比較
預金等(譲渡性預金含む)	42,123	(2.3) 977
貸 出 金	28,301	(2.8) 775
有 価 証 券	13,641	(△5.8) △841

(注) 25年3月期比較欄の上段の()内は、前年比増減率(単位：%)であります。

〔損益〕

(単位：百万円)

	【 単 体 】		【 連 結 】	
	26年3月期予想	25年3月期比較	26年3月期予想	25年3月期比較
経 常 利 益	13,000	431	14,500	143
当 期 純 利 益	7,500	2,678	8,000	2,456
業 務 純 益	17,300	△1,645		